

大田稲門会 2022年度 定期総会 議事録

1. 日時：2022年5月28日（土） 12時～12時40分
2. 場所：蒲田 プラザ・アペア
3. 議案：1号議案 2021年度活動報告
2号議案 2021年度会計報告並びに監査報告
3号議案 2022年度活動計画
4号議案 2022年度予算案
5号議案 欠員監査1名の選任
4. 資料：「大田稲門会 定期総会 議案書」
5. 開会

磯部副会長の司会により開会が宣言された。出席者数等について以下の発言があった。

・本総会の出席者は69名、委任所状受理が110名、合計179名。3月末時点の会員総数287名の過半数を超えていることを報告する。

・会員物故者のご冥福を祈り全員で黙とうを行いたい。物故者は3年間で13名（令和元年：直江裕様、西聰太郎様、関政泰様、萩谷功様、安守章様、令和2年：松本弘巳様、羽賀裕様、吉岡幸雄様、涌田健司様、令和3年：山口信昭様、高橋徹様、丸尾勝彦様、中根啓介様）の方々。（全員起立して黙祷）

6. 安田会長挨拶

要旨は以下の通り。

・コロナ禍で3年ぶりの開催となった。昨年3月に高橋前会長の急逝を受けて会長を拝命した。この2年間はコロナ感染による行動制限が断続的に出され、今年1月の七福神巡りを除いて全く公式行事を行っていない。今回感染対策を施した窮屈な総会となるが、対面で会合を持つだけでも大きな意義がある。皆さんのご出席に感謝するとともに、今後の活動を活発に行っていくため、積極的かつ忌憚のないご意見を頂戴したい。

7. 議長選出

司会より議事に先立ち議長を安田会長に依頼したいの旨の提案があり、出席者の満場一致で承認された。

8. 議事

議長より本総会の議事録署名人を小泉監査に依頼したい旨の提案があり、出席者からの満場一致で承認された。

・議事内容と質疑は以下の通り。

① 1号議案（2021年度活動報告）

熊川幹事長から資料に基づき説明があった。コロナ禍でほとんどの行事が開催できず、唯一1月の七福神巡りだけが37名もの参加を得て開催できた。会議や各活動はオンライン（Zoom）を活用して従来通りの回数を行うことができた。リアルな活動は出来なかったが、会報誌は新たな企画を取り込み従来以上のページ数、内容とすることができた。

② 2号議案（2021年度会計報告並びに監査報告）

薄根会計から資料に基づき説明があった。行事の中止により会費を徴収せずに予算を立て、従来並みの繰越金を残すことができた。会報発行費や通信費で予算超過があったが全体としては、予算内に収めることができた。

小泉監査から4月4日に行われた会計監査において、会計内容が公正かつ厳密であることを確認したとの報告がなされた。1号、2号議案について意見、質問なく、出席者からの満場一致にて承認・可決された。

③ 3号議案（2022年度活動計画）

熊川幹事長から資料に基づき説明があった。コロナ禍が継続するので、行動制限等により状況が変化するものとして計画した。前年度は会費を徴収しなかったが、今年度は活動を再開する計画であることと会員との連携維持の面も考慮し、年会費 3,000 円を徴収することとしたい、などの説明があった。

④ 4号議案 (2022 年度予算案)

熊川幹事長から資料に基づき説明があった。会費収入は会員数を 280 名と想定したこと、校友会からの組織強化費は従来通り交付いただけること、支出では会員増強費として新入会員歓迎会 2 回分を考慮したこと、会議費に施設使用料値上がり分と Zoom 更新料を考慮して増額したことなどの説明があった。3 号、4 号議案について意見、質問なく、出席者からの満場一致にて承認・可決された。

⑤ 5号議案 (欠員監査選任)

土生事務局長から現在 1 名欠員状態となっている監査の選任について説明があった。3 月の役員会で人選について協議した結果、矢野事業担当部長を監査に推挙することに至ったと説明があった。これについて意見、質問なく、出席者からの満場一致にて承認・可決された。

9. 来賓紹介

司会より、大学からの出席者、嘉指学氏の紹介があり、続いてご本人からの挨拶と当日配布された資料をもとに大学に関する最新情報の報告があった。

10. 閉会宣言

司会から本総会の議案全てが承認・可決された旨の報告と閉会宣言があり、2022 年度定期総会が終了した。

以上

2022 年 5 月 28 日

大田稲門会定期総会 議事録署名人：

小泉正晃
